

ほかほか

古江小学校 人権教育だより

令和6年12月10日発行

12月になり、各学級が決めた人権月間のめあてを振り返っているところです。人権月間は終わりましたが、これからも、自分や友だちを大切に、一人一人がふるえがおで過ごせる古江小学校になるように取り組みは続けていきます。

人権集会をしました

先週の水曜日に、全校で人権集会を行いました。今年度の人権集会のねらいは、「全校での活動を通して、いろいろな学年の友達とふれあうことの楽しさや心地よさを味わう。」でした。ふれあいアート委員会のみなさんがふれあい遊びを考え、会の進行もしました。

久しぶりの全校でのふれあいに楽しみにしている子ども、ドキドキしている子ども、様子は様々でしたが、全校で活動ができて楽しい時間となりました。



6年生の班長さんを中心に、なかよし班で並びました。



声を出さずに誕生日順に円になりました。

うまく伝わらず頭を抱えている人もいましたが、ジャスチャーを使って工夫して伝えていました。



小道具も作り、なかよし列車のルールを説明していたふれあいアート委員会です。



なかよし列車では、学年が混ざった長い列ができ、みんなで楽しめました。

人権教育担当の話では、各学級の人権月間のめあてを今後も大切にして、あたたかい気持ちでまわりの人に接してほしいという話がありました。

校長先生の話では、言葉を通さなくても、相手に伝えようという思いや、相手のことを知ろうとする気持ちが大切という話がありました。また、自分自身を大切に、そしてまわりの人たちも大切していこうという話がありました。

これからも、人権集会で交流した子ども同士の間を大切に過ごしていってほしいと思います。

～人権月間の様子～

人権月間の生活目標は、「みんなふるえがお」でした。そこから、それぞれの学級で具体的な目標を考え、取り組んでいました。音楽室前の掲示板に掲示し、全校が見られるようにしていました。その横に、目標の振り返りを掲示しています。



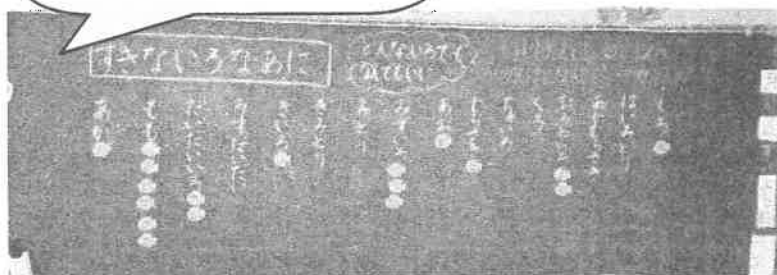
各学級の取り組み



道徳のふりかえりとして、自主学习ノートにまとめていました。ひそひそ話やいやな言葉を使わないということや、個性を認めることの大切さについて考えていました。

好きな色は一人一人違うことを知り、自分らしさを大切にする気持ちをもつことについて考えました。

気持ちがふわふわ嬉しくなるふわふわ言葉を学級で集めて、ふわふわの木を作っていました。



ほかにも…

- ・道徳の時間に、違いを大切にして、誰にでも公平に接することについて考えました。
- ・世界人権宣言から、学校や社会の一員として自他の権利を大切にしようという気持ちについて学びました。